

平成28年度 第4回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨（案）

日 時 平成29年1月23日（月）14：10～15：53
場 所 管理棟2階 小会議室
構 成 員 8名（出席者6名、欠席者2名）

（幹事会委員）

11号委員（がんセンター長）	増田 昌人
16号委員（沖縄県立中部病院）	朝倉 義崇
16号委員（那覇市立病院）	友利 寛文（代理：真栄城兼誉医師）
17号委員（沖縄県立宮古病院）	松村 敏信
17号委員（沖縄県立八重山病院）	玉城 和光（欠席）
18号委員（北部地区医師会病院）	柴山 順子
21号委員（沖縄県保健医療部）	糸数 公（欠席）
21号委員（琉球大学医学部総務課長）	金城 邦光

（オブザーバー）

沖縄県保健医療部健康長寿課がん対策班 （陪席者）	徳田麻紀子
がんセンター	城間 彩乃
医学部総務課総務第二係	本郷 弘子

○議事の進行に際して増田議長から、iPadにより進行することの説明及び机上配付資料の説明があった。

議事要旨・委員一覧

1. 平成28年度第3回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨(10月17日開催)について

増田議長から資料1に基づき、第3回幹事会議事要旨（平成28年10月17日開催）について説明及び確認があった。

2. 平成28年度第3回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨(11月11日開催)について

増田議長から資料2に基づき、第3回協議会議事要旨（平成28年11月11日開催）について説明及び確認があった。

3. 平成28年度第3回沖縄県がん診療連携協議会議事録(11月11日開催)について

増田議長から資料3に基づき、第3回協議会議事録（平成28年11月11日開催）について説明及び確認があった。

4. 協議会・幹事会・部会委員一覧について

増田議長から資料4に基づき、委員の変更について報告があった。

審議事項

1. 「沖縄県：医療圏別／がん種別 死亡数削減プロジェクト（大腸がん）」について

増田議長から資料5に基づき、プロジェクトの委員人選の現状について説明があり、委員メンバーを早急に決定し協議会での承認を得て、2月下旬か3月上旬頃に最初の会合を開催したいとの説明があった。併せて、ロジックモデルについて説明があり、協議会の本竹委員のアドバイスにより、個別施策の取り組みとして、死亡症例の1例1例を丁寧に検討する「合同症例検討会」の実施等を盛り込んだ旨の説明があった。

また、議論の中で以下の意見があった。

- ・10年計画で、委員会の役割はどこを担うことになるか、エビデンスを確定することか。

⇒増田議長から、プロジェクトとして役割分担をしながら中・長期的に議論していくことになる。現段階で予算がなく、当面はボランティアになる。県がカバーしている委員会や、市町村が実施する検診はどのようなアプローチで行うか委員会の議論の鍵となる。また、県の事業の「健康おきなわ 21」の取り組みとの重複もあり、市町村で取り組みの足並みが違うが、コール・リコールに関しては、他県の先行事例や好事例等を参考に実施して行くのも良いとの説明があった。

2. がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の受講率について

増田議長から資料6に基づき、沖縄県の緩和ケア研修会の受講状況が平成28年9月1日現在で受講率69%、全国平均の65%を若干上回っている状況との説明があった。その中で琉大病院の実施率が悪く、改めて琉大病院内の受講状況を確認したが、受診率は上がっていない現状との説明があった。これを受けて緩和ケア部会では、本年6月30日までに、那覇市立病院及び県立中部病院の協力で行う、追加研修会の実施が決まり、議長から担当病院の委員に対して謝辞があった。

また、琉大病院での病院長通知、医師に対する一斉メールを利用した実施通知の状況も併せて説明があり、今後は命令という形を打ち出して取り組む必要があるとの意見が出された。

3. 平成29年度の協議会・幹事会の開催の日時について

増田議長から資料7に基づき、協議会は5月、8月、11月、2月の第1金曜日、幹事会は4月、7月、10月、1月の第2月曜日を基本の実施としており、原案の提案について説明があった。なお、予定の実施日直近で大きな行事等や、会議構成員の大半が出席できないようであれば、1週間ずらし調整して開催することにしたいとの補足説明があった。

4. 平成28年度の第4回協議会の議題調整について

増田議長から資料8に基づき、本幹事会での検討を踏まえ議題提案する旨説明があり、了承された。

5. その他

特になし

報告事項

1. がん対策基本法の改正について

増田議長から資料9に基づき、改正の概要について説明があり、新旧対照表も併せて確認するよう発言があった。

2. 平成28年度第1回沖縄県がん対策推進協議会について

3. 平成28年度第2回沖縄県がん対策推進協議会について

沖縄県保健医療部健康長寿課がん対策班徳田麻紀子主査から、資料10及び資料11に基づき、報告があり、主な議事内容については各自確認することになった。

4. 「沖縄県がん対策推進計画（第2次）中間評価」について

沖縄県保健医療部健康長寿課がん対策班徳田麻紀子主査から資料12に基づき、昨年12月に公表された中間評価結果における主な結果として、がんの年齢調整死亡率20%減少という目標達成が厳しい状況である旨報告があった。詳細は健康長寿課のホームページで公表しているということであった。増田議長から、パブリックコメントについて質問があり、新規計画の策定あるいは変更の際に行う規定であり、今回はパブリックコメント実施なしとの回答があった。

また、報告事項18に関連して資料26に基づき、診療連携拠点病院等の指定に関する厚生労働省の検討会で、北部地区医師会病院が「地域がん診療病院」として平成29年度以降の指定承認について報告があり、資料等の作成に協力された北部地区医師会病院の柴山委員及び関係者へ謝辞が述べられた。

なお、今回の指定承認に至ったポイントとして柴山委員から、人員配置の見直しにより専従職員等の配置ができたこと、人事交流で琉大病院との連携支援に変更した2点が主な改善点であったとの説明があった。

5. 沖縄県がん患者等支援事業の活動報告について

増田議長から資料13に基づき、各離島圏での支援事業について報告があった。併せて、石垣図書館との共催で地域の療養情報と地元資源の活用について発表が行われ、77名の参加があり盛会であったとの報告があった。

6. 沖縄県地域統括相談支援センターの活動報告について

増田議長から資料14に基づき、琉大病院内におかれた沖縄県地域統括相談支援センターのピアサポート業務の集計結果報告があった。また、日本対がん協会のプログラムに則ったがんピアサポーター養成講座の開催について16名の受講者のうち、全課程修了者が14名であった旨、併せて報告があった。

7. 第61回 がん対策推進協議会

8. 第62回 がん対策推進協議会

9. 第63回 がん対策推進協議会

10. 第64回 がん対策推進協議会

増田議長から資料15～資料18に基づき、がん対策推進協議会について報告があり、特に、総務省行政評価局が纏めたがん対策に関する行政評価・監視の結果に基づく勧告、指摘について説明があり、詳細は添付資料を各自で確認するよう発言があった。

11. 第10回 厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会

増田議長から資料19に基づき、各分科会における審議状況について報告があった。

12. 第23回 厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、平成28年度第9回薬事・食品衛生審議会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）

増田議長から資料20に基づき、全国疫学調査について説明があった。HPVワクチン接種に係る疫学調査結果で、接種と接種後に生じた症状との明かな因果関係は言及できないということで、ワクチン接種が再会の方向で調整されるとの説明があった。

13. がん等における緩和ケアの更なる推進に関する検討会

増田議長から資料21に基づき報告があり、添付資料を各自で確認するよう発言があった。

14. がん検診のあり方に関する検討会

増田議長から資料22に基づき報告があり、添付資料を各自で確認するよう発言があった。

15. がん検診受診率等に関するワーキンググループ

増田議長から資料23に基づき報告があり、添付資料を各自で確認するよう発言があった。

16. がん診療提供体制のあり方に関する検討会

増田議長から資料24に基づき報告があり、添付資料を各自で確認するよう発言があった。

17. 第7回 小児がん拠点病院の指定に関する検討会

増田議長から資料25に基づき報告があり、添付資料を各自で確認するよう発言があった。

18. 第12回 がん診療連携拠点病院等の指定に関する検討会

増田議長から資料26に基づき報告があり、添付資料を各自で確認するよう発言があった。

19. 中頭教育事務所 平成28年度中学校教科研修会「公開授業（保健体育）」について

増田議長から資料27に基づき報告があり、協議会までに中頭教育事務所から報告レポートが出される見込みとの説明があった。また、当該公開授業では、普及啓発部会が授業に踏み込んで議論に関わったとの補足説明があった。

20. その他

- ・HPVワクチン接種関連で、疫学調査でどのような結論が出ようとも、救済の方針がぶれることはない。
- ・沖縄県の場合、離島患者が地元での診療以外に琉大病院での診療に要するとして、渡航旅費の問題提起があるが、このことは地元市町村と県が対応していくことになると思われる。
- ・緩和ケア研修会について、次年度は北部地区医師会病院も研修会を実施の必要がある。
- ・高価な抗がん剤の使用に関して、患者個人が使う分は高額療養費で対応できるので、全額自己負担というわけではないが、負担が増すという誤った情報が交錯し、がん治療ができないという勘違いが一部であるようである。
- ・拠点病院での受講率向上の取り組みに関して、目標期限の本年6月以降の研修受講率が悪い場合、ペナルティーがあるとは聞いていない。拠点病院の最重要課題というメッセージが込められていると思われる。

部会報告事項

議長から、各部会報告事項について添付の資料を各自で確認するよう発言があり、協議会当日は、部会長から報告があるとのことであった。

1. 緩和ケア部会（資料28）
2. がん登録部会（資料29）
3. 研修部会（資料30）
4. 相談支援部会（資料31）
5. 地域ネットワーク部会（資料32）
6. 普及啓発部会（資料33）